

終わりに

終わりに ～実現が期待される暮らしの姿～

都市づくりの目標の実現に向けた取組を進めていくと、その先には多くの以下のような市民の姿が見られるようになることが期待されます。

- ・藤井寺市の貴重な財産である歴史文化やまちなみに愛着を持つ人
- ・まちなか観光に携わる人
- ・落ち着いたある良質な住環境に惹かれて定住を決めた人
- ・交通利便性を活かして大阪都心方面に通勤する人
- ・ウェルビーイングの高い人
- ・本市の未来を担う若者や子どもたち

本計画に位置付けた取組を進めることで、実現が期待される人々の暮らしや営みのイメージは以下のようなものです。

市の特性を活かした交流とにぎわいのある暮らし

世界遺産都市として藤井寺市が有名になるとともに、歴史文化資源を活かしたまちの魅力づくりに取り組んだ結果、多くの観光客を見かけるようになり、市民も誇りに感じています。

鉄道駅周辺では商業店舗やオフィスなどの集積が進み、市民は生活利便性が高まったことを実感しています。

空き家や空き店舗等を活用したレストラン、カフェ、雑貨店が歴史資源等を巡る回遊ルートに組み込まれ、市民や観光客が楽しんでいます。

市内のカフェで働く20代のAさん。SNSを用いて店の情報のほか、市の魅力スポットなども発信しています。



安全・安心で快適な暮らし

計画的な土地利用や道路整備、公共施設の整備や維持管理を進めることで良好な市街地が形成されており、市民はその中でいきいきとした暮らしや事業を営んでいます。

災害に対する備えが充実するとともに適切なインフラの維持管理がなされており、市民は安心して生活できています。

静かな住宅地、歴史が感じられる住宅地、駅近の便利な住宅地など様々な価値観やライフスタイルに対応した住宅地があり、在宅勤務やリモートワークで働く人も増えてきています。

在宅ワークをしている40代のBさん。静かな環境で仕事ができおり、近くには気分転換できる公園もあって、充実した日々を送っています。



誰もが移動しやすい暮らし

公共交通をはじめとする様々な交通手段によって、市民はどこに住んでいてもより快適に移動できています。

高齢者や障害のある人達、運転免許を持たない市民も自分に適した移動手段を利用して安心して外出できています。

運転免許を返上した80代Cさん。外出の際には公共交通を利用して安心して移動できています。



子どもが健やかに育つ暮らし

公園や子育て関連施設、サービスなどの子育て環境が充実しており、若い世代の移住・定住が増えています。

地域教育、環境教育の中で地域の自然や歴史資源などを学ぶ機会があり、子どもも市に親しみを感じています。

歩道の整備や公共施設のバリアフリーにより、安心して子育てができています。

4歳児のDちゃん。遊具の整った公園に行くのが大好きで毎日のように友達と遊んでいます。



市への愛着が高まる暮らし

市民と多様なまちづくり活動が展開され、暮らしやすさが向上するとともに、市民自身が活動を楽しんでいます。

身近な公園や広場などは、地域のイベントで活用したり地域で維持管理する取組が進んでおり、日常の暮らしの中に地域コミュニティが根付いています。

地域活動の活性化により、主体的に活躍する市民が増加し、市民は市への愛着を感じています。

地域活動に参加している70代のEさん。住みよい地域づくりに貢献することが、日々の暮らしの中で楽しみの一つになっています。

